# BIGLOBE クラウドホスティング サーバイメージ持込 ガイドライン

3.4 版

(2025年5月8日)

ビッグローブ株式会社



# 改版履歴

版数	発行日	改訂箇所	改訂内容
1版	2012 年		初版発行
3.2 版	2024年1月18日	2.サーバイメージ構成	Windows Server2012 新規販売終了に伴う
		ガイドライン	記載の削除
3.3 版	2024年10月1日	2.サーバイメージ構成	Red Hat Enterprise Linux 7、CentOS 7 新
		ガイドライン	規販売終了に伴う記載の削除
3.4 版	2025年5月8日	2.サーバイメージ構成	AlmaLinux 9、Red Hat Enterprise Linux 9
		ガイドライン	新規販売に伴う記載の追加

## 1. 本ガイドラインについて

サーバイメージ持込機能をご利用いただくためのサーバイメージ構成ガイドラインおよびコントロールパネル機能動作状況を記載しています。

サーバイメージ持込の手順については、ご契約後にダウンロードいただける「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」を参照ください。

<u>持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。</u>

## 2. サーバイメージ構成ガイドライン

本機能をご利用するためのサーバイメージの構成について説明しています。サーバイメージは OVF ファイル(拡張子 .ova)形式でエクスポートされたものとします。以下のガイドラインに沿ってサーバイメージを作成してください。

#### 【ゲスト OS 種別】

項目	Windows	Linux
os ø	Windows Server 2022 (64bit) Standard Edition	AlmaLinux 9 (64bit)
バージョン	Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition	AlmaLinux 8 (64bit)
٤	Windows Server 2016 (64bit) Standard Edition	• Red Hat Enterprise Linux 9 (64bit)
エディション		<ul> <li>Red Hat Enterprise Linux 8 (64bit)</li> </ul>

#### ● 標準提供以外の OS の種類・バージョンの利用について

標準提供以外の OS の種類・バージョンをインストールすることはサービス約款、BIGLOBE クラウドホスティング ユーザマニュアルに記載しております通り、当社のサポート範囲外となります。サーバイメージ持込機能をご利用の場合に限り、以下の留意事項をご了承の上、標準提供以外の OS を使用できます。

- 1. 標準提供以外のOSの導入方法・ご利用については、非サポートとなります。
- 2. 動作保証やトラブル時の復旧、お問い合わせ等は一切行えないことをご了承ください。
- 3. 持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用・動作内容およびその結果については、お客様が一切の責任を負うものとします。
- 4. 持込イメージ、持込イメージから作成したサーバが正常利用できなかった場合も、サーバイメージ保管料、サーバ料金が発生します。
- 5. Windows Serverの持込については、本ガイドラインに掲載されているバージョン、エディションのみ可能です。 選択できるOS以外のLinux系OSを持ち込む場合、アップロード時のOS種別は「AlmaLinux 9」を指定してください。

### 【仮想化基盤】

項目	Windows	Linux
OVF テンプレート作成環境	vSphere 6.7., 7.0	

# 【仮想マシンハードウェア構成】

項目	Windows	Linux	
仮想マシンハードウェアバ	バージョン 11		
ージョン	Red Hat Enterprise Linux、AlmaLinux の場合は 11 および 15		
仮想マシンの OS タイプ	インストールされている OS と同じにすること		
CPU*	1vCPU(予約 0MHz、制限 2048MHz で制限無しのチェックが外れていること)		
メモリ*	2GB 1GB		
HDD 仮想ディスクタイプ	~40GB : シン		
HDD ディスク数	1 (非独立型のみ)		
CD/DVD ドライブ*	CD/DVD ドライブが存在する場合は、以下の設定であること		
	・デバイスタイプ:「クライアントデバイス」		
	・モード:「IDE パススルー(推奨)」		
仮想デバイスノード	SCSI(0:0)		
OVF ファイル	ファイル形式: OVA		
	サイズ上限 :40GB まで(Windows Server 2016 以降の場合は 100GB まで)		
SCSI バスの共有 <sup>※</sup>	なし		
SCSI コントローラー	LSI Logic SAS AlmaLinux、Red Hat Enterprise Linux の場合に		
	VMware 準仮想化		
NIC 種別	VMXNET3	VMXNET3	
VMCI	無効		

● 表中に<sup>※</sup>印が記されている項目は、ガイドラインに沿わない構成でサーバイメージをアップロードされた場合でも、ガイドラインに沿った構成に自動的に変更されてイメージ登録されます。

### 【ゲスト OS の構成】

項目	Windows	Linux	
ファイアウォール設定	ICMP および SNMP 通信が許可されていること		
ネットワーク接続名	「ローカル エリア接続」と「ローカル エリ	「eth0」と「eth1」の二つが存在する	
	ア接続 2」の二つが存在する		
Perl		OS 付属の純正のものがインストールさ	
		れていること	
ファイルシステム		ext3/4 または xfs でフォーマットされてい	
		ること	
VMware Tools のインストール状況	インストール済み(上記の仮想マシンのバージョンでインストールされているバージョ		
	ン)で、仮想サーバ起動時に VMware Tools も起動するように設定		
	※VMware Tools は最新版を推奨		
その他設定	AlmaLinux、Red Hat Enterprise Linux を持ち込む場合は以下のパッケージをインス		
	トールした状態で OVF テンプレートをエクスポートすること		
	https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/device_mod7-1.1-0.noarch.rpm		
	https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/route_add-2.0-0.noarch.rpm		

### ご利用環境

- 以下の環境での動作を保証しております。
  - •Google Chrome, Mozilla Firefox

#### ご注意事項

- <u>【重要】持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ</u> 作成についてのご支援はいたしません。
- 【仮想化基盤】に記載の環境で構築された OVF イメージのみ、サーバイメージ持込が可能なことを確認しています。
- サーバイメージの作成は VMware vSphere ドキュメントセンターの情報を参考に、OVF テンプレートのエクスポートを 行ってください。

https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/6-5/vsphere-virtual-machine-administration-guide-6-5/deploying-ovf-templates-vSphereVirtualMachineAdministration.html (外部リンク)

- イメージから作成されたサーバに入っているアプリケーションのライセンスは、お客様で管理ください。
- Windows サーバのイメージから作成したサーバでは、Windows Update、DNS サーバ、NTP サーバの各設定は設定の内容に関わらず、BIGLOBE の既定の設定になります。ただし、Linux の NTP サーバの設定はお客さまの設定がそのままご利用いただけます。
- OS のシャットダウン処理が正常に終了したサーバからサーバイメージを作成してください。異常終了したサーバから 作成したサーバイメージを持ち込んだ場合、コントロールパネルからサーバの作成が出来ません。
- ファイアウォールの設定等、サーバのセキュリティ対策はお客様にて設定をお願いします。
- OVF テンプレートのエクスポート時にサーバイメージのファイル名として指定できない文字は以下の通りです。 以下は OVF テンプレートのエクスポート元となる仮想サーバに定義されている NIC 名にも指定できません。 ▶ 2バイト文字、Windows でファイル名として許容できない文字
- WindowsServer を持ち込む場合、システム準備ツール(Sysprep)にてサポートしていない役割が構成された持込イメージからはサーバを作成することが出来ませんのでご注意ください。Microsoft 社の情報提供サイトをご参照ください。 (参考 URL:https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/hh824835.aspx)情報提供サイトにて「サポートされていません」となっている「サーバの役割」が構成された持込イメージの場合、サーバ作成を行うことができません。
- Red Hat Enterprise Linux を持ち込む場合、サーバイメージ作成元サーバの Red Hat サブスクリプションの有無にかかわらず、Red Hat サブスクリプションなしのサーバイメージとして登録されます。

#### 制限事項

- 仮想マシン(VM)が複数含まれるサーバイメージは持ちこめません。(アップロード完了後、エラーとなります。)
- ファイルを分割した仮想ディスク(VMDKファイル)を含むサーバイメージは持ち込めません。(アップロード完了後、エラーとなります。)
- 持込イメージおよび持込イメージで作成されたサーバについては、以下の機能をご利用いただけません。

持込イメージで作成されたサーバ	グローバル IP アドレスなしのサーバを作成後、グローバ	
	ル IP アドレスを追加	
	基本ディスク拡張	

# 3. コントロールパネル機能動作状況

作成した持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバの動作確認状況をまとめた表です。下記をご確認のうえ、ご利用下さい。ただし、持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用およびその結果については、お客様責任となります。

機能名 (サーバイメージ)		操作名	持込イメージの動作確認状況
	イメージ詳細	-	0
サーバ機能	イメージからサーバ作成	(ベースモデル)	O (Linux の場合、お客様がお持ちの SSH 鍵をご利用ください。コントロー ルパネルにて作成した SSH 鍵は使 用できません。)
	イメージ削除	-	0
	イメージ共有	共有·共有解除	0

コントロールパネル機能名(サーバ)		操作名	持込イメージから作成したサーバの 動作確認状況
	サーバリソース変更	CPU	0
		CPU リソース優先	0
		メモリ	0
		基本ディスク拡張	×
		追加ディスク(D1、D2)	0
		ゾーン変更	0
サーバ設定	追加ディスク変更	切断・接続・料金プラン変更	0
	料金プラン変更	_	0
	サーバ操作	サーバ起動	0
		サーバ再起動・強制再起動	0
		サーバ停止・強制停止	0
		サーバ休止	0
		サーバ削除	0

コントロールパネル機能名(サーバ)		操作名	持込イメージから作成したサーバの 動作確認状況
	スナップショット	作成・リストア	0
	サーバイメージ	作成	0
サーバ設定	サーバ複製	-	0
	ディスク接続・切断	-	0
	IP アドレス追加	-	x
	保持 IP アドレス	IP アドレス保持・割当	0
	コンソール接続	-	0
ネットワーク・	7_ /7± , , ,		
セキュリティ	ファイアウォール	_	0

# BIGLOBE クラウドホスティング

サーバイメージ持込

ガイドライン

3.4版 2025年5月

ビッグローブ株式会社